
みやざき活性化フォーラム

エコツーリズムと 地域活性化

株式会社アイロード
代表取締役 福永栄子

1

思春期をローマで過ごす

- 12～15歳イタリアへ。多感な思春期を過ごす。
- イタリア人は陽気・交流好き。
- しかし、家族やマチ、食文化、仕事など地域性を、地域それぞれの個性を大切にする国民。

- ◆ 家族や地域を大切にしている。
- ◆ 職業は、世襲制が多い。
- ◆ 花や景観、食文化を守る(「私のヨーロッパ」)
- ◆ 食があふれる豊かな地
- ◆ ケ・セラ・セラ

2

大学時代、緒方貞子先生に出逢う

のちに国連難民高等弁務次官になられた緒方貞子先生のゼミで、国際関係論を学ぶ。

JICA理事長(84歳まで)を経て、特別顧問(90歳)

草の根の市民交流こそ「世界平和」をもたらす

世界の人が国境を越えて交流をし始めたとき、
本当の平和が訪れる。

3

地域の宝を守りたい人々が 草の根の運動をおこす

地域交流は、地域づくり

地域交流誌「みちくさ」10万部8000ヶ所の発行
みちくさ倶楽部で、エコな旅
日本タウン誌・フリーペーパー大賞2015
ビジネスモデル部門最優勝を受賞

4

暮らしのなかの交流

エコツーリズム
ECO TOURISM

5

「みちくさ」コンセプト

暮らすように旅する
旅するように暮らす

6

エコツーリズム

暮らしの中で旅する 新しい形の旅

エコツーリズムとは何だろうか？

エコツーリズムの中に

[ブルーツーリズム／グリーンツーリズム／ネイチャーツーリズム／
タウンツーリズム／ルーラルツーリズム／ヘルスツーリズムなど]

みやざき【グリーン】ツーリズム協議会
オール宮崎の暮らしツーリズムDMO事務局
株式会社アイロード内

7

暮らしの中を旅することで

その**地域固有の価値**を知り、
他文化の価値を感じる

文化人類学でいう

他文化の価値観を**識る**ことで、

自文化の価値観が**当たり前**であるを**解体**。

8

エコツーリズム

□ 何が地域の財産なのかを

↓

- ◆ 暮らしを体感する
 - ◆ 暮らしに感動する
 - ◆ 暮らしの中にあつた価値観を学ぶ
 - ◆ 地域の暮らしの何を
残していくべきかを学ぶ
-

9

エコツーリズム ECO TOURISM

□ Conservation

価値ある地域財産を**維持保全**する活動

□ Communities

地域コミュニティを**存続**させる活動

□ Interpretation

地域の**価値**を**伝える**活動

10

Conservation

価値ある地域財産を

維持保全する活動

地域にとって価値あるもの（自然・暮らし・文化など）を、

次世代に残し、引き継ぎ、発展させる活動を

持続させる交流形態が、**エコツーリズム**

11

Communities

地域コミュニティを**存続**させる活動

地域の価値を紹介することで、

経済的にも活性化させ、

地域コミュニティの存続につながる活動としてのエコツーリズム

12

Interpretation

地域の価値を伝える活動

地域に存在する自然、人の営み、文化などを理解し、大切に作る心を育み、新たな「気づき」に導く交流や旅

13

Ecotourismの定義

HOME | NEWSLETTER SIGN UP | JOIN TIES | LOG IN | MEMBER CENTER いいね! 4,37

THE INTERNATIONAL ecotourism SOCIETY
Uniting Conservation, Communities and Sustainable Travel




About | Find Members | Programs | Resources | Get Involved | News | Membership | For Members

Home > About > What Is Ecotourism?

About TIES

- TIES Overview
- What is Ecotourism?**
- TIES & Ecotourism (Español)
- TIES & Ecotourism (中文)
- Key Documents: State of the Tourism Industry
- TIES Lifetime Achievement Award
- Employment Opportunities
- Frequently Asked Questions

What is Ecotourism?

Conservation	Communities	Interpretation
 <p>Offering market-linked long-term solutions, ecotourism provides effective economic incentives for conserving and enhancing bio-cultural diversity and helps protect the natural and cultural heritage of our beautiful planet.</p>	 <p>By increasing local capacity building and employment opportunities, ecotourism is an effective vehicle for empowering local communities around the world to fight against poverty and to achieve sustainable development.</p>	 <p>With an emphasis on enriching personal experiences and environmental awareness through interpretation, ecotourism promotes greater understanding and appreciation for nature, local society, and culture.</p>

14

Ecotourismの定義

The Definition

Ecotourism is now defined as "responsible travel to natural areas that conserves the environment, sustains the well-being of the local people, and involves interpretation and education" (TIES, 2015). Education is meant to be inclusive of both staff and guests.

Principles of Ecotourism

Ecotourism is about *uniting conservation, communities, and sustainable travel*. This means that those who implement, participate in and market ecotourism activities should adopt the following ecotourism principles:

- Minimize physical, social, behavioral, and psychological impacts.
- Build environmental and cultural awareness and respect.
- Provide positive experiences for both visitors and hosts.
- Provide direct financial benefits for conservation.
- Generate financial benefits for both local people and private industry.
- Deliver memorable interpretative experiences to visitors that help raise sensitivity to host countries' political, environmental, and social climates.
- Design, construct and operate low-impact facilities.
- Recognize the rights and spiritual beliefs of the Indigenous People in your community and work in partnership with them to create empowerment.

[Click Here](#) to read the full articles announcing the revisions.

エコツーリズム ECO TOURISM

自然や暮らし(文化・食)など、先人から受け継いだ地域固有の価値観を訪れる人に感じてもらうことで、受け入れた地域の人たちにも、その価値を再認識してもらう。こうして、地域の価値観を存続させていく交流活動がエコツーリズム。

この活動によって、地域そのものが存続できるようになる。訪れる人だけでなく、迎え入れた人もまた、「学ぶ」ことができる体験交流がエコツーリズム。

旅人も、住んでいる人も 暮らしの中で いっぱい 旅をしよう！

I 「暮らしの中」で旅人を受け入れると、
⇒ 旅人を通して、地域の人も

地域の**本物の宝**を知ることができます！

17

今、VFRが大切なワケ



実態と統計は、乖離する

18

2869万人

訪日外客数（**JNTO**日本政府観光局）

平成29年1月～12月の数字

伸率 19.3%

19

背景 少子高齢化による消滅の危機を迎えている自治体を
観光産業で盛り上げる地方創生施策

日本は、
2003年の国策である「ビジットジャパン」を皮切りに、
インバウンド受け入れを中心に
総合産業としての**観光産業**に力を入れ始めた。
そして、昨年、訪日外国人数は、当初目標値の
2000万人を達成し、2800万人を超えている。

20

旅行手配方法が変化している 1

①団体ツアー参加 **18.9%** (平均単価**125,085円**)

②個人旅行パッケージ利用

《往復航空(船舶)券と宿泊券がセットの個人旅行向けパッケージ商品》

10.4% (平均単価**120,857円**)

③個別手配

《往復航空(船舶)券や宿泊等を個別に手配》

70.7% (平均単価 **59,875円**)

21

旅行手配方法が変化している 2

①団体ツアー参加 **18.9%** (旅行中支出**87,853円**)

一人当たり総額 **212,938円**

②個人旅行パッケージ利用

10.4% (旅行中支出**133,097円**)

一人当たり総額 **253,954円**

③個別手配

70.7% (平均単価 **133,515円**)

一人当たり総額 **193,390円**

22

61.4%

訪日外国者の61.4%が訪日回数2回以上
(**JNTO**日本政府観光局)

平成29年1月～12月の数字

23

訪日リピーター

1) 訪日回数の増加とともに1人当たり旅行支出が高くなる。

⇒10回以上の客層は2~4割程度高い。

2) 訪日回数が増えると、地方を訪れる割合が高くなる。ひとり旅の割合も高くなる。

個別手配の割合も高くなる。(観光統計より)

24

訪日外客数および消費動向調査

平成24年 訪日外客数 836万人

訪日外国人旅行消費額 1兆846億円

平成25年

訪日外客数1,036万人 (前年比24.0%増)

訪日外国人旅行消費額 1兆4,167億円
(前年比30.6%増)

訪日外客数および消費動向調査

平成26年

訪日外客数1,341万人 (前年比29.4%増)

訪日外国人旅行消費額 2兆278億円
(前年比43.1%増)

平成27年

訪日外客数1,974万人

訪日外国人旅行消費額 3兆4771億円
(前年比71.5%増)

平成28年 訪日外国人旅行消費額

3兆7476億円(前年比7.8%増)

→過去最高ではあるが、

平成27年の3兆4771億円(前年比71.5%増)

71.5%増→ **7.8%増**に・・・(観光庁の数字)

なぜ？

27

平成28年 年間調査結果

1. 訪日外国人1人当たりの旅行支出

○訪日外国人1人当たりの旅行支出**15万5,896円**
前年(**17万6,167円**)に比べ、**11.5%減少**。

○国籍・地域別にみると、

オーストラリアが最も高く、24万7千円(前年度も最も高く **6.7%増**)

中国が23万2千円 (前年比**18.4%減**)

スペインが22万4千円 (前年比**1.4%減**)

28

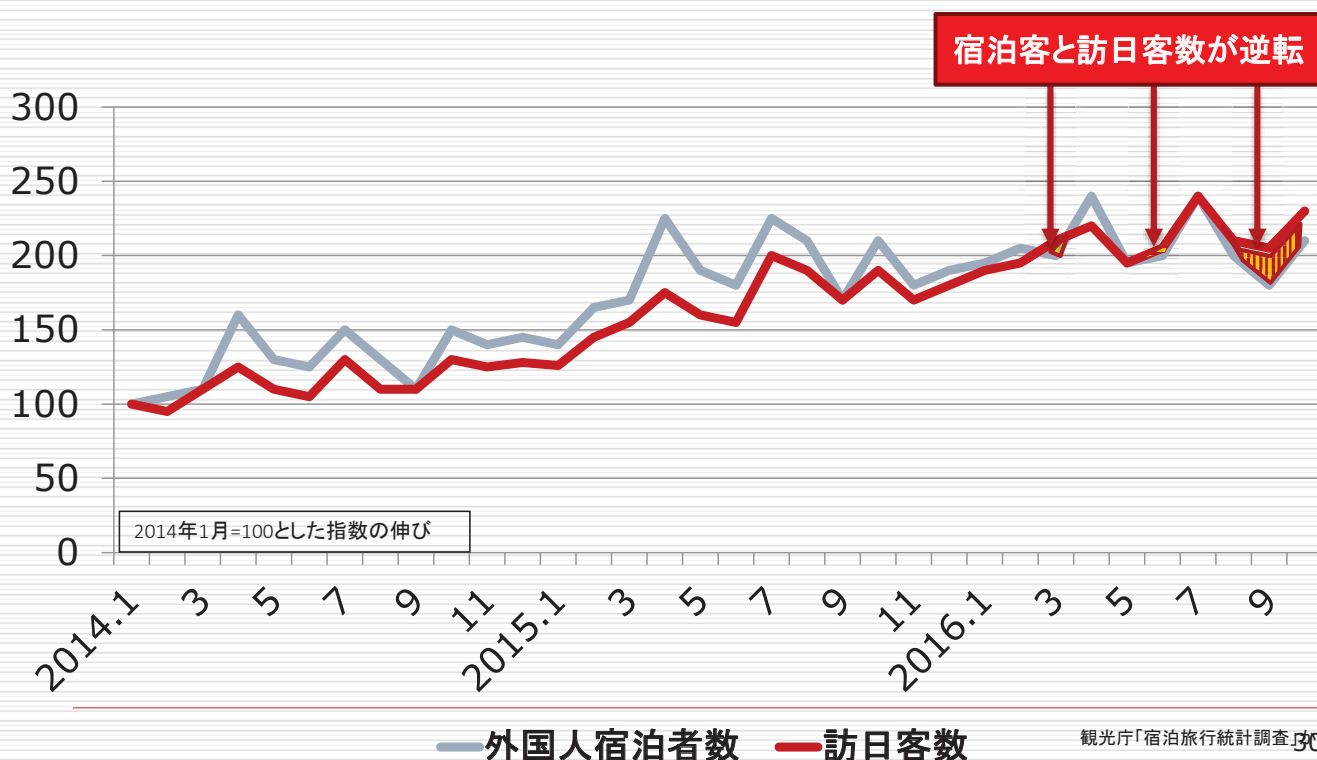
訪日旅行の実態【米国】

(観光庁訪日外国人消費動向調査
2010年第1回調査より)

- ほとんどが個人旅行、パッケージツアー比率11.1%。
- 滞在日数は7～13日間が最も多く、3分の1の35.7%。
→ 訪日外国全体で見ると、7～13日間が約4分の1の25.2%。
- 日本への訪問回数は1回目というのが最も多く、約半分の46.8%。
- 同行者の傾向としては「自分ひとり」というのが48.8%と最も多い。
→ 16区分中では、ドイツ(59.8%)、英国(59.5%)、フランス(55.1%)に次いで「自分ひとり」が多い。
- 利用した宿泊施設は、「ホテル」が67.4%。
次いで「親族・知人宅」が25.2%、「旅館」は21.6%。
→ 訪日外国人全体では「ホテル」が77.8%。「親族・知人宅」は10.2%、「旅館」は22.8%。

29

インバウンドの現状 統計と実体経済の乖離



インバウンドの現状 統計と実体経済の乖離

消えた訪日客・・・

いったいどこへ・・・？

国の訪日外国人数と宿泊の統計が一致しない。訪日客数ほど宿泊者数が伸びていない。ギャップの大きさからして、民泊の影響だけではない。一体全体どこへ消えたか？

インバウンドの現状 統計と実体経済の乖離

2014年から、訪日外国人客数と外国人宿泊客数(延べ)は、ともに増加傾向を描いてきたが、2016年の春頃から、**訪日外国人客数が宿泊客数を下回る逆転現象**が見られるようになった。

国のインバウンド推進により好調に伸びていたホテル旅館の稼働率が、昨年2月、11ヵ月ぶりにマイナスに転じた。

バスの中や空港で仮眠をとるなど、訪日外国人旅行客の多様な旅のスタイルの変化によって、訪日外国人客数の伸びと宿泊客数の伸びが必ずしも一致していない。**観光分野において、既存の枠組みでは実態が正確に把握できていない**ことがわかる。

消えた訪日客・・・ここにいた！

33

© (株)アイロードCONFIDENTIAL

ギャップを埋めるものは？ その1

1) 民泊 エア・BアンドB

民泊広がる大阪

民泊サイト掲載(1)大阪(2)東京(3)京都

大阪観光局が関西国際空港の訪日客を対象に実施した調査
ホテルに宿泊した訪日外国人 全体の57%

次が「民泊」で、全体の17%

需要も多いが供給も増え、価格が暴落

2015年12月 →2016年12月

2LDKで1泊約2万3千円→1万7千円(2割値下げ)

34

ギャップを埋めるものは？ その2

2) 巨大クルーズ船がホテルに

例) 博多港(福岡県)

クルーズ船の寄港回数が国内最多

平成27年度328回(前年から27%増)

入国者数 約170万人

例) サファイア・プリンセス

1回の寄港で約3千人→約70台のバスが朝から夕方まで立ち寄る。船内には大浴場や運動場、劇場もあり、ホテルというより「街」

35

クルーズ船利用者が世界的に増えた

低価格化がおこっている

→閑散期は高級ホテル1泊料金並みの

1泊3万3千円程度

36

ギャップを埋めるものは？ その3

3) 夜行路線バスを利用者が激増

例) ウィラーアライアンス(東京新宿)の夜行バス
東京～大阪間3900円程度(豪華なシート)
訪日外国人の利用は年間13万人
5年前の約4倍

ギャップを埋めるものは？ その4

4) LCC(格安航空会社)の便の増加

早朝深夜に発着する便が増加している。関空では、
2015年から大阪市内を結ぶバスを24時間走らせている。
空港に泊まる訪日客も多い。(関空エアロプラザ)
関空では人道毛布を無料で貸し出ししている。
大阪市内では24時間営業のサウナに外国人客が増えて
いる。さまざまな仮眠スペースで外国人が過ごしている
姿が見受けられる。

ギャップを埋めるものは？ その5

5) キャンピングカーシェアリングエコノミー

オーナーからキャンピングカーから借りて貸し出す方式

例)レヴォレーター(東京渋谷)

東京～富士山～岐阜県高山市～上高地～

関西～東京(10日間)

レンタル代 平日1日7500円～30000円程度

6名で乗れば高くても一人5000円程度

東京～大阪間3900円程度(豪華なシート)

ギャップを埋めるものは？ その6

6) これからは「VFR」____新しいカタチの旅

平成24年から提言してきた

新しい旅のカタチ (SNSや交流)

Visit (訪ねる)

Friends (知り合い等) & **R**elatives (親戚等)

海外からのエコツーリスト

1) エコツーリズムを愛好する

外国人個人旅行者 (FIT)

● 知的好奇心が高く

● 旅の上級者

⇒ 滞在時間が長く、1日あたりの消費額も高い

● 日本の源流を知ること、自分をも磨きたい人

41

滞在型農山漁村の確立・形成イメージ



資料：「農泊について」農林水産省農村振興局都市農村交流課

42

暮らしをめぐる旅の企画

○ 新会社である

エコツーリズムカンパニー(株)アイロード・プラスを立ち上げ、着地型に特化した旅行事業を開始！エコツーリズムに則った人的サポートができるよう旅行業、農業支援事業に加え、労働者派遣事業、職業紹介事業を興した。

○ 北霧島と児湯郡をフィールドにすることを決定！ 「北きりしま田舎物語推進協議会」「西都市グリーン・ツーリズム研究会」と連携する。

ご清聴ありがとうございました